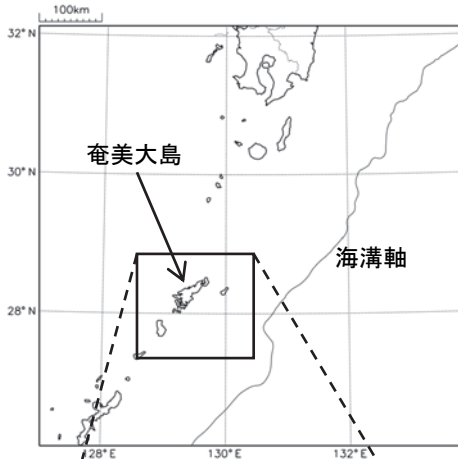


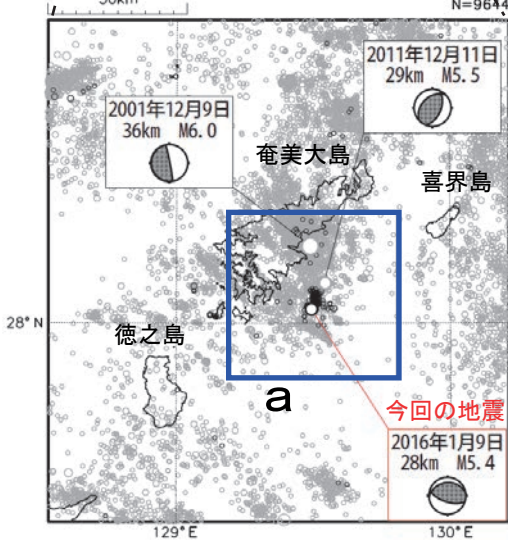
1 月 9 日 奄美大島近海の地震



震央分布図

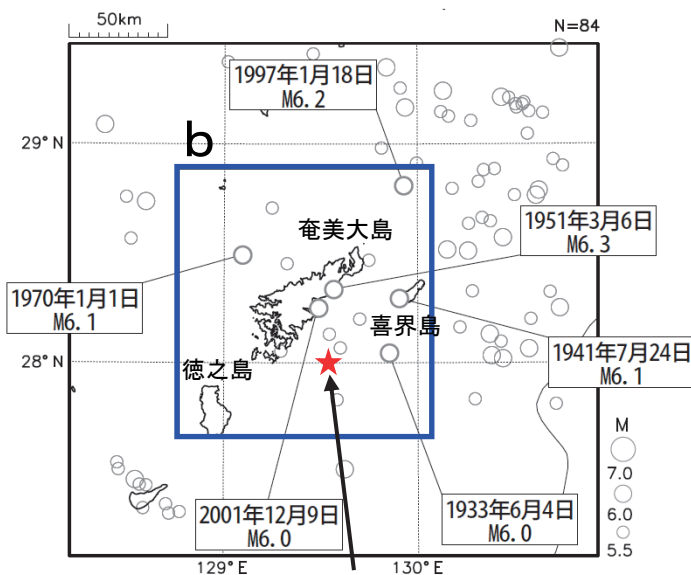
(1994 年 10 月 1 日～2016 年 1 月 31 日
深さ 0～40km、 $M \geq 2.0$)

2016 年 1 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 1 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.5$)



今回の地震の震央位置

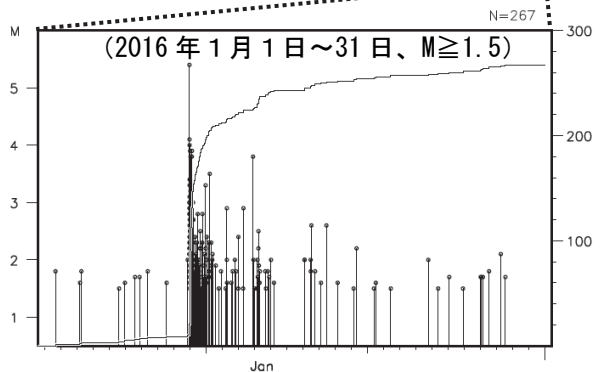
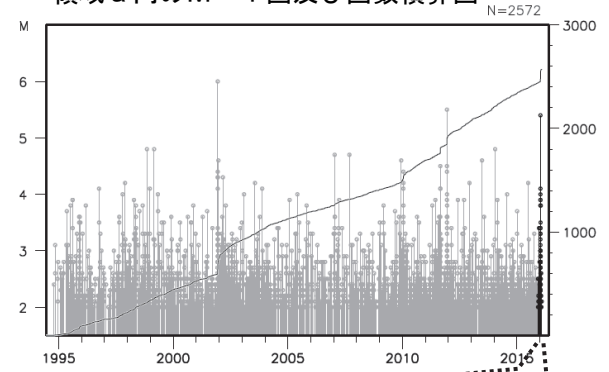
2016年1月9日23時12分に奄美大島近海の深さ28kmでM5.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

この地震の発生以降、一時的に余震活動が活発となり、最大震度1以上を観測した余震が11回発生した。余震活動はほぼ収まっている。

1994年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、地震活動が活発な領域で、M4.0を超える地震がしばしば発生している。そのうち、2001年12月9日に発生したM6.0の地震（最大震度5強）では、住家一部損壊1棟などの被害が生じた（被害は、総務省消防庁による）。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。そのうち、1970年1月1日に発生したM6.1の地震（最大震度5）では、負傷者5人、住家一部破損1,462棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

